

【様式 1 - 1】

軽米町 橋梁長寿命化修繕計画

令和 2 年 3 月

軽米町

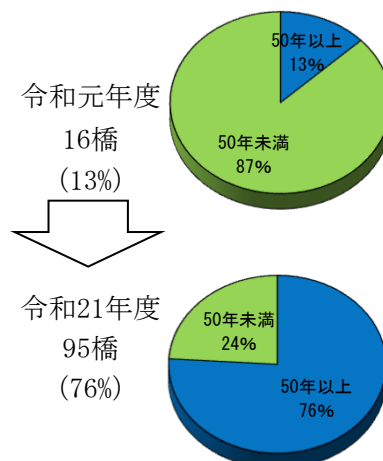
1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

軽米町が管理する橋梁は、令和元年度現在で125橋架設されている。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の13%を占めており、20年後の令和21年には、76%程度に増加する。

これらの高齢化を迎える橋梁に対して、従来の事後保全型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕や架け替えに要する費用が増大となることが懸念される。



2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト縮減のためには、従来の事後保全型から、「損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う」予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで軽米町では、将来的な財政負担の低減および道路交通安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。

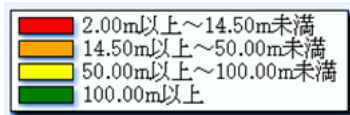
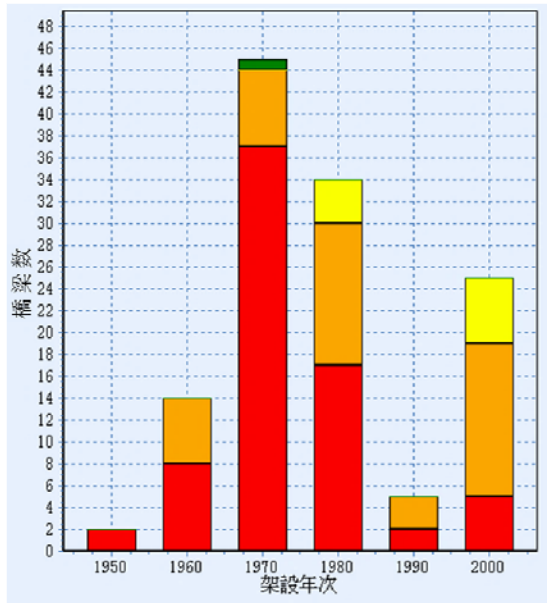
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	町道 1級	町道 2級	町道 その他	合計
全管理橋梁数	21	13	91	125
うち計画の対象橋梁数	21	13	91	125
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち令和元年度計画策定橋梁数	21	13	91	125

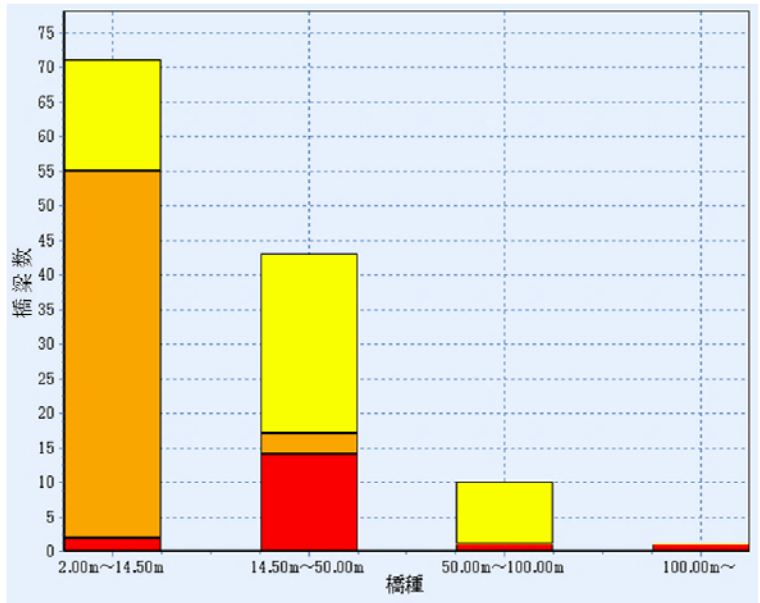
長寿命化修繕計画の対象：

- 全管理橋梁125橋

架設年別グラフ



橋種別グラフ



3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的方針

定期点検（5年に1回）や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度の把握に努める。また、点検に際しては「軽微な損傷」や「点検対象部材で補修が必要と判断される損傷」についても記録（損傷図、写真等）を保存する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、定期パトロールや維持修繕などの実施に努める。定期点検の間も目視（可能な範囲で近接）による状況の確認を行う。維持修繕は橋梁の長寿命化につながるため路面清掃、排水施設及び橋座の土砂撤去、小規模な変形・欠損箇所の補修などの実施に努める。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

軽米町が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過した橋梁は全体の約76%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想される。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減する。

【様式 1-2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

(詳細検討の結果, 変更する場合がある)

凡例: 点検を実施すべき時期を示す。

凡例: ↔ 対策を実施すべき時期を示す。

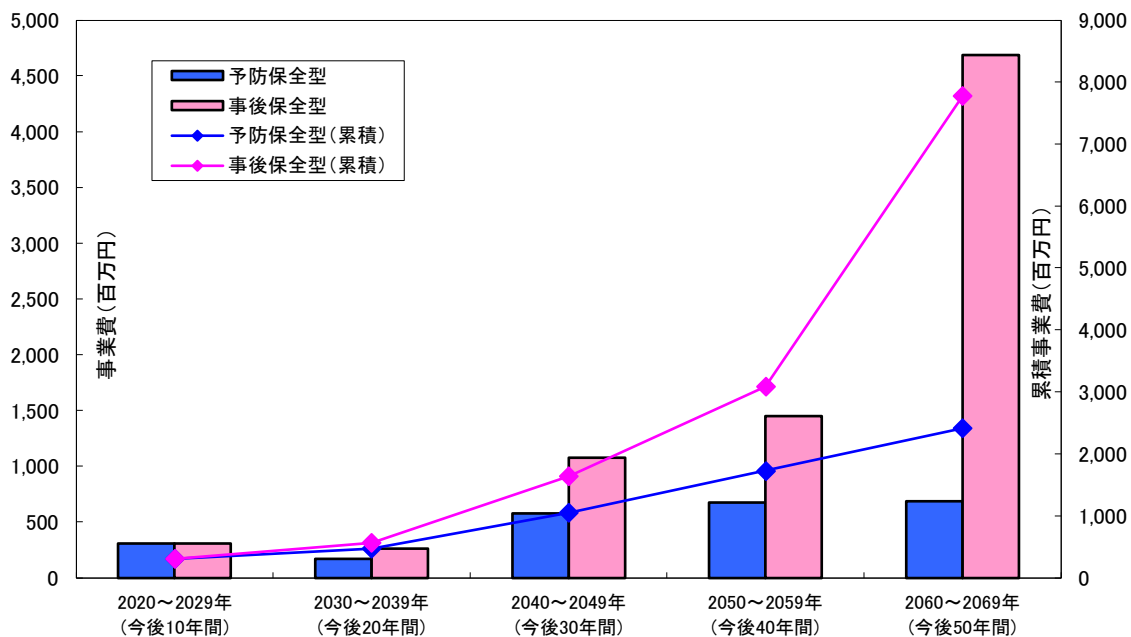
橋梁名	路線 等級	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新点 検年次	対策の内容・時期									
							2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
千草新橋	その他	農道	52.6	1986	34	2014	↕									
松ノ脇橋	1級	小軽米・セツ役線	8.4	1974	46	2016	↕									
笹渡下向橋	1級	松ノ脇下向線	3.7	1979	41	2015	↕									
狄塚橋	その他	狄塚線	30.0	1978	42	2016	↕									
松前沢橋	その他	円子大沢線	5.3	1971	49	2016	↕									
下青沢橋	1級	屋敷青沢新畑線	8.4	1975	45	2015	↕									
下おさん平橋	2級	小玉川板銅屋線	6.3	1974	46	2015	↕									
上尾田橋	その他	上尾田1号線	45.1	1969	51	2018	↕									
郷坂橋	その他	西里高家線	6.5	1979	41	2016	↕									
晴山橋	1級	下晴山貝喰線	30.0	1963	57	2018	↕									
戸草内上橋	2級	戸草内尻高柳線	4.3	1958	62	2017			↕							
滝橋	その他	長倉口水吉線	5.5	1968	52	2018			↕							
こぶし橋	1級	岩崎外川目線	74.6	1986	34	2014			↕							
山内新橋	その他	サビノスエリ新井田線	43.3	1986	34	2018			↕							
三貫橋	その他	蛇口四斗餅線	16.5	1977	43	2015			↕							
新井田新橋	その他	林道林分改良線	43.3	1985	35	2012				↕						
こうぎ橋	その他	林道中のこうぎ線	40.8	1985	35	2012				↕						
深渡橋	1級	板橋米田岡堀線	120.0	1976	44	2015					↕					
早渡橋	1級	下晴山貝喰線	46.0	1971	49	2018						↕				
関端橋	1級	屋敷青沢新畑線	7.9	1969	51	2015						↕				
屋敷端	1級	屋敷青沢新畑線	4.0	1987	33	2015					↕					
中青沢橋	1級	屋敷青沢新畑線	8.0	1979	41	2015					↕					
上青沢橋	1級	屋敷青沢新畑線	8.0	1979	41	2015					↕					
いちい橋	1級	岩崎外川目線	58.5	1986	34	2016						↕				
さかい橋	1級	板橋米田岡堀線	2.5	1979	41	2016							↕			
中山新橋	2級	軽米高家線	51.1	1986	34	2018							↕			
八木沢橋	2級	八木沢米田線	15.6	1972	48	2015							↕			

※架設年度は想定を含む。

6. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する125橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型が77.8億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が24.2億円となり、コスト削減効果は53.6億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

軽米町 地域整備課 環境整備 TEL : 0195-46-2111

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

岩手大学 理工学部 大西 弘志 教授

岩手大学 理工学部 小山田 哲也 准教授

